

このファームウェアは Omada SDN プラットフォームに完全に適応していますが、Omada コントローラー v4.1.5 以上にしか対応していません。

古い Omada コントローラーを使用していて、EAP のためにこのファームウェアをアップグレードする場合は、Omada コントローラーもアップグレードする必要があります。：  
[アップグレードガイド](#)

#### 新機能/変更点:

1. AI Roaming に対応しました。
2. Daylight Saving Time に対応しました。
3. Dynamic VLAN に対応しました。
4. SSID の既定の暗号化方式を AES に変更しました。
5. automatic Tx Power deployment 機能を追加しました。
6. Omada コントローラーの無効な IP アドレスに EAP を移行する際に、EAP がロールバックする機能を追加しました。
7. Omada アプリのスタンドアロンモードで、GPU 使用率、メモリ使用率、帯域関連の設定を表示する機能を追加しました。
8. 電源が不安定な状況下で稀に EAP が初期化されてしまう問題を最適化しました。

#### 修正したバグ:

1. Management VLAN の設定で、無効な VLAN ID を設定できる不具合を修正しました。
2. RF スキャンで、現在の 2.4GHz の帯域が実際は 20MHz であっても、40MHz と表示される問題を修正しました。
3. RF スキャンで特定の SSID のチャンネル情報が表示されないことがあるという不具合を修正しました (2.4GHz Wi-Fi のみ)。
4. Omada アプリをインストールした無線クライアントが、Omada アプリで EAP の 2.4GHz チャンネルや Tx パワーを変更すると、稀に EAP の 5GHz 無線から切断される問題を修正しました。
5. ファームウェアのアップグレード中、稀に EAP が異常な再起動をし、EAP が動作不能になってしまう問題を修正しました。
6. Ubuntu Mate PC が EAP の 2.4GHz SSID に接続できない問題を修正しました。
7. 稀に EAP の 2.4G SSID に Chromebook が接続できない問題を修正しました。

8. 一部のプリンターと利用している際に、稀に EAP がブロードキャストパケットを送信しない問題を修正しました。
9. Omada アプリのスタンドアローンモードで、5G の帯域幅を変更した後、取得したチャンネルリストが変更されないという不具合を修正しました。
10. Omada アプリのスタンドアローンモードで、Huawei や Samsung などの Android 端末のアイコンがクライアントリストやブロックリストに表示されないという不具合を修正しました。

#### 注意

1. EAP225-Outdoor (JP) v1 専用
2. 日本の MKK 認証を受けており、このファームウェアにアップグレードをすると EU/US 版にダウングレードすることはできません。
3. このバージョンのファームウェアは Omada アプリのバージョン 3. 2. 3x 以上に適用されます。